

セキュリティをグローバルスケールで議論する

JPAAWG

2019.11.14^{Thu}-15^{Fri}

2nd General Meeting

JPAAWG 2nd General Meeting

主催: JPAAWG 運営事務局
併催: 一般財団法人インターネット協会
(迷惑メール対策カンファレンス)

2019年11月14日~15日
ベルサール飯田橋ファースト B1F

開催報告書

2019年12月9日

目次

1.	開催概要	p2
2.	運営事務局	p3
3.	参加登録者・来場者数	p3
4.	ご協賛企業	p4
5.	当日配布アンケート集計結果	p4
6.	EventRegist 自動送信アンケート集計結果	p20
7.	講演者からのご意見	p22
8.	プログラム	p24
9.	プログラム詳細	p27
10.	制作物	p39
11.	会場の様子	p39
12.	メディア	p41



1. 開催概要

名 称	JPAAWG 2nd General Meeting
日 時	2019年11月14日(木)～11月15日(金) 2日間 11月14日(木) 10時00分～17時35分 11月15日(金) 10時00分～17時00分
主 催	JPAAWG 運営事務局
併 催	一般財団法人インターネット協会(迷惑メール対策カンファレンス)
後 援	特定非営利活動法人/オープンテクノロジー技術者認定機関(LPI-JAPAN)
対 象 者	通信事業者のセキュリティ担当、電子メールサービス担当、メール配信業者、クラウド・ホスティングサービス提供者などのエンジニア・マネージャー
参加費用	無料 ※一部有料プログラム(事前登録制)
会 場	ベルサール飯田橋ファースト 112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワーB1 ベルサール飯田橋ファースト 大江戸線「飯田橋駅」C3出口徒歩4分/ JR線「飯田橋駅」東口徒歩5分 有楽町線・南北線「飯田橋駅」B1出口徒歩5分/ 東西線「飯田橋駅」A3出口徒歩6分 https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/iidabashi/bs_iidabashifirst/access/
お問合せ先	JPAAWG 2nd General Meeting 運営事務局 株式会社イーサイド内 email: jpaawg-office@e-side.co.jp



2. 運営事務局

リーダー

櫻庭 秀次

(株式会社インターネットイニシアティブ、迷惑メール対策協議会技術
ワーキンググループ主査、迷惑メール対策委員会委員長)

メンバー

伊藤 美佳 (VadeSecure 株式会社)

加瀬 正樹 (株式会社 TwoFive)

北川 直哉 (東京農工大学)

北崎 恵凡 (ソフトバンク株式会社)

Mihyon Lee Hirano (株式会社クオリティア)

森崎 聡 (株式会社オプテージ)

ニコライ ボヤジエフ (株式会社コミュニティネットワークセンター)

平野 善隆 (株式会社クオリティア)

未政 延浩 (株式会社 TwoFive)

3. 参加登録者・来場者

事前登録者数

事前登録者 (一般) : 502 名

事前登録者 (講演者) : 48 名

合計 : 550 名

当日来場者数

事前登録者 (一般) : 372 名

事前登録者 (講演者) : 48 名

当日登録者 : 12 名

PRESS : 4 名

合計 : 436 名

懇親会参加者

チケット回収数 : 83 名

会議事前登録者来場比率 76%

4. ご協賛企業

プラチナスponsor

株式会社 TwoFive (クッキースponsor/ランチセッション)
株式会社インターネットイニシアティブ (コーヒーブレイクスponsor)
Vade Secure 株式会社
Proofpoint, Inc. (Cloudmark) (ランチセッション)

ゴールドスponsor

株式会社クオリティア (ランチセッション)
Kaspersky

シルバースponsor

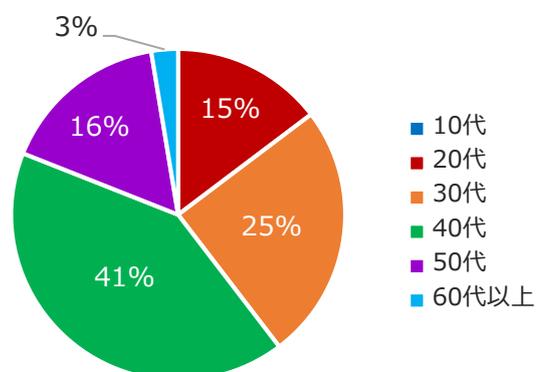
ソフトバンク株式会社
OX Dovecot 株式会社
スクヤリティ・ジャパン株式会社
NEC ソリューションイノベータ株式会社
OpenIO
株式会社 NTT ドコモ
dmarcian, inc.

5. 当日 Web アンケート集計結果

回答数 当日来場者 : 436 名 アンケート回答数 : 116 名 回答率 : 27%

Q1. あなたの年代を教えてください

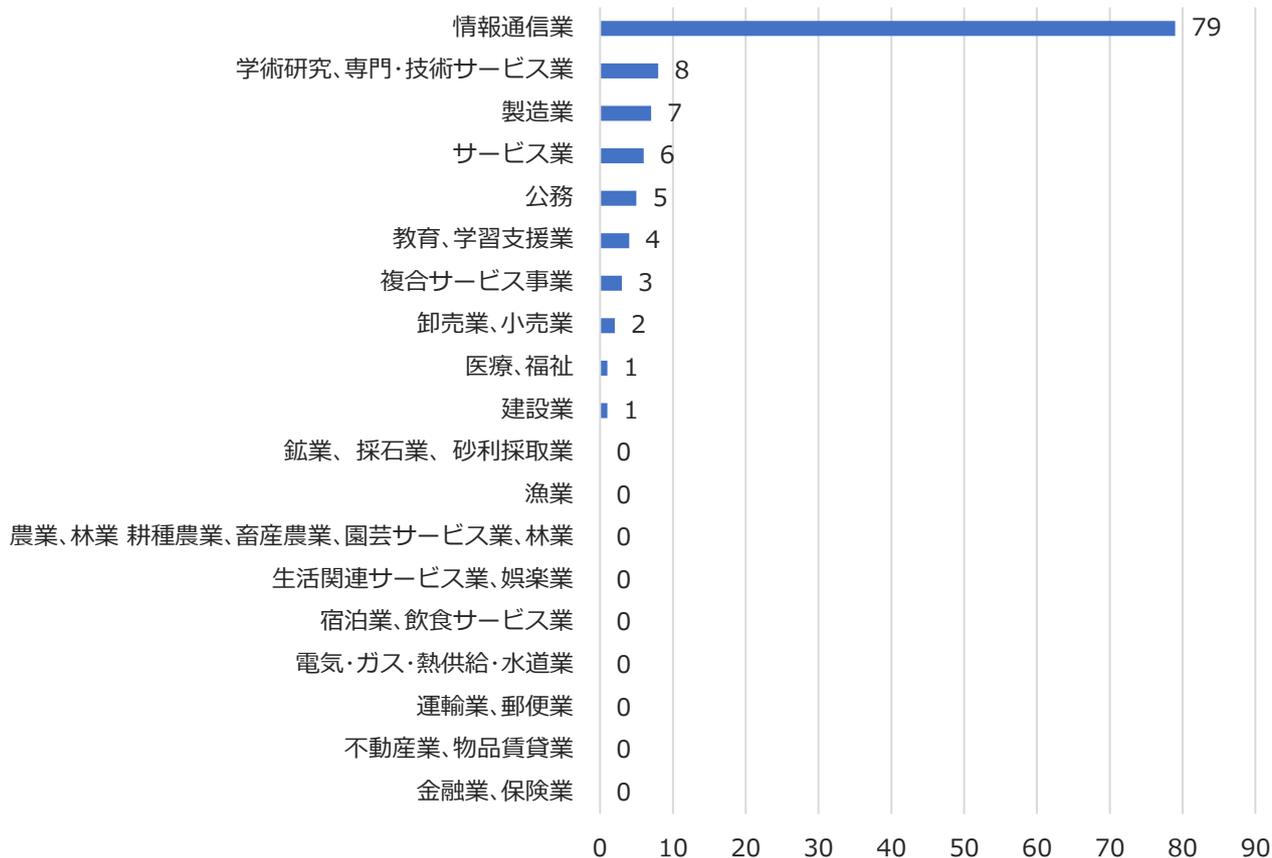
10代	0
20代	17
30代	29
40代	48
50代	19
60代以上	3
計	116



Q2. あなたの業種を教えてください

情報通信業	79	金融業、保険業	0
学術研究、専門・技術サービス業	8	不動産業、物品賃貸業	0
製造業	7	運輸業、郵便業	0
サービス業	6	電気・ガス・熱供給・水道業	0
公務	5	宿泊業、飲食サービス業	0
教育、学習支援業	4	生活関連サービス業、娯楽業	0
複合サービス事業	3	農業、林業 耕種農業、畜産農業、園芸サービス業、林業	0
卸売業、小売業	2	漁業	0
建設業	1	鉱業、採石業、砂利採取業	0
医療、福祉	1		

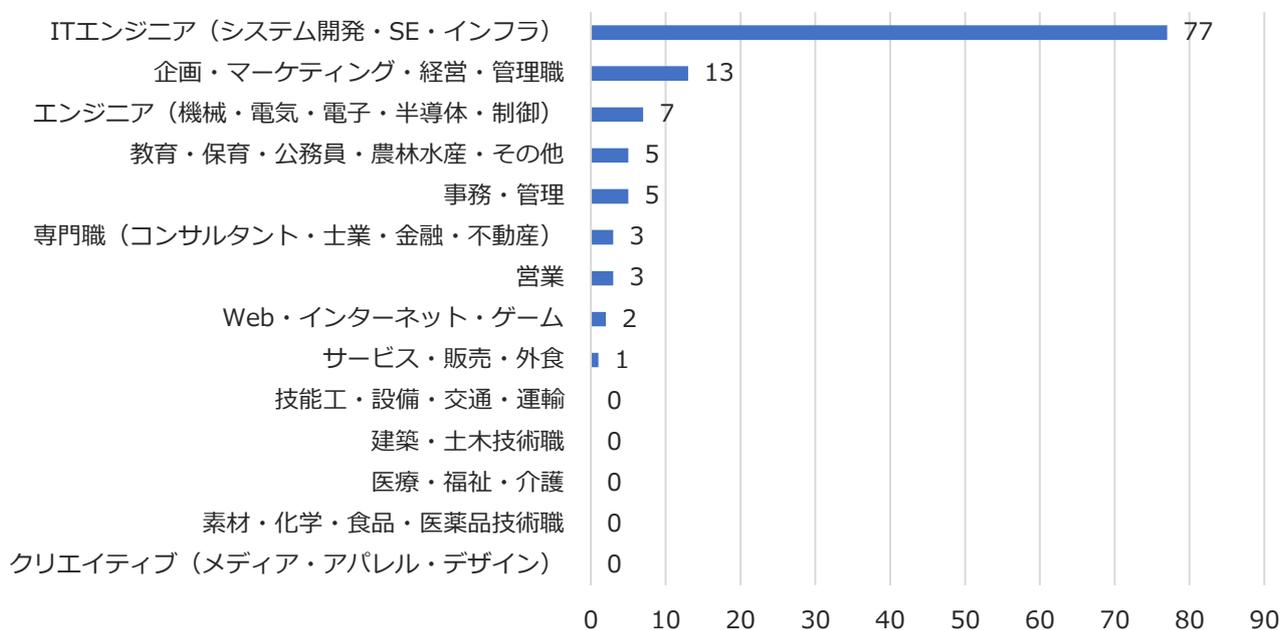
計 116



Q3. あなたの職種を教えてください

ITエンジニア（システム開発・SE・インフラ）	77	Web・インターネット・ゲーム	2
企画・マーケティング・経営・管理職	13	サービス・販売・外食	1
エンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御）	7	クリエイティブ（メディア・アパレル・デザイン）	0
事務・管理	5	素材・化学・食品・医薬品技術職	0
教育・保育・公務員・農林水産・その他	5	医療・福祉・介護	0
営業	3	建築・土木技術職	0
専門職（コンサルタント・土業・金融・不動産）	3	技能工・設備・交通・運輸	0

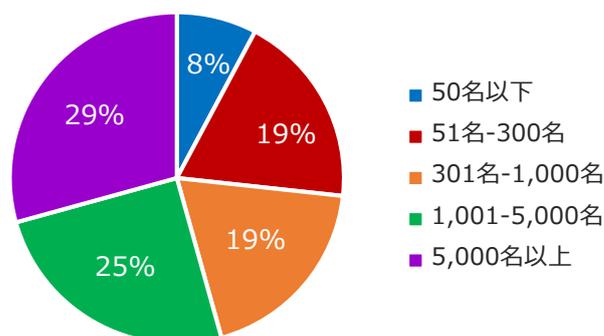
計 116



Q4. あなたの所属組織の従業員数（派遣社員も含む）を教えてください

50名以下	9
51名-300名	22
301名-1,000名	22
1,001-5,000名	29
5,000名以上	34

計 116

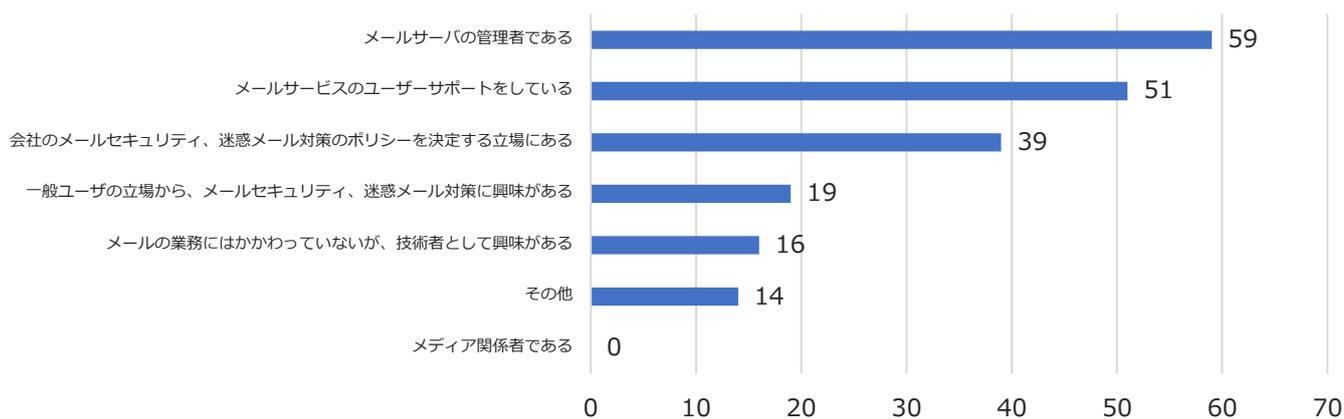


Q5. あなたはメールセキュリティ、迷惑メール対策にどのようにかかわっていますか？
(複数回答可)

メールサーバの管理者である	59
会社のメールセキュリティ、迷惑メール対策のポリシーを決定する立場にある	39
メールサービスのユーザーサポートをしている	51
メールの業務にはかかわっていないが、技術者として興味がある	16
一般ユーザの立場から、メールセキュリティ、迷惑メール対策に興味がある	19
メディア関係者である	0
その他	14
計	198

「その他」 選択者コメント

- ・ 犯罪対策
- ・ メールサーバを触る機会がある
- ・ メールサービス開発部署に所属
- ・ 品質保証
- ・ メール関連サービスの開発責任者
- ・ メール配信ソフト開発
- ・ 経営管理上の観点からセキュリティ一般に興味がある
- ・ メールサービス関連提供会社

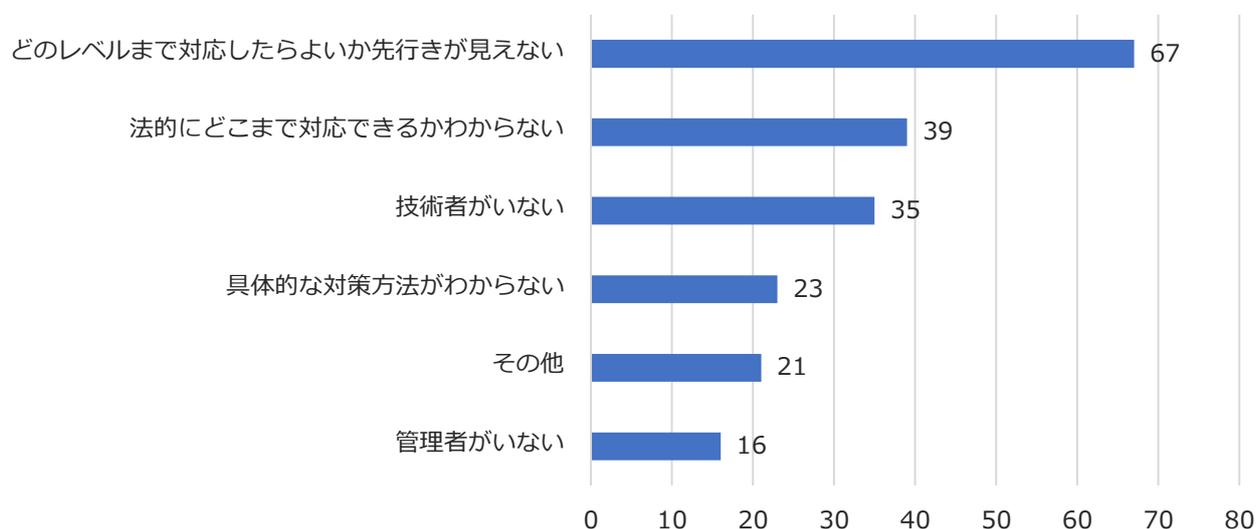


Q6. 迷惑メール・メールセキュリティに関する課題を教えてください。(複数回答可)

技術者がいない	35
管理者がいない	16
具体的な対策方法がわからない	23
どのレベルまで対応したらよいか先行きが見えない	67
法的にどこまで対応できるかわからない	39
その他	21

「その他」選択者コメント

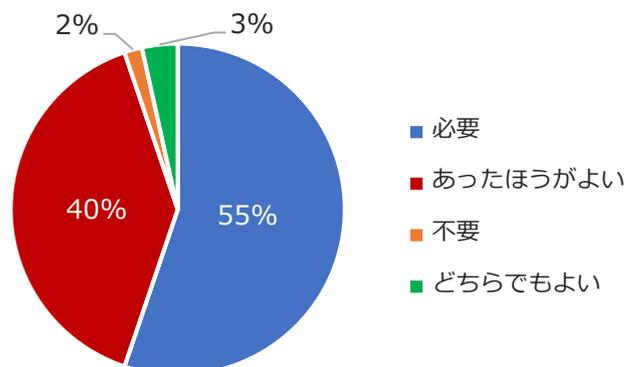
- ・ 特になし (3件)
- ・ Submission の踏み台被害
- ・ 経営層が意識していない
- ・ 体系だった情報の入手が難しい
- ・ 技術が多い
- ・ 顧客への啓蒙活動
- ・ DMARC などの対応
- ・ メールサービス自体が gmail などと比較され、収益源になりにくい中で投資対象になりにくい
- ・ 研究機関向けに学術ネットワーク、メールサービスを運用しているが、今後の政府方針と法人のポリシーや運用、予算の兼ね合いもあり、対応に難しい条件が多い。
- ・ 保守しているプロバイダが SPF しか対応しておらず、他の認証方法が使用できない
- ・ 新しい技術が誕生しても日本じゃなかなか導入に至らない
- ・ 海外事業者に abuse を送っても変化がない
- ・ 新たな問題が発生し、常に対策が求められる
- ・ スパマに追従しきれていない
- ・ 発生する事案に対して、takedown 率が低い、逮捕できない。
- ・ まだ利用者の立場であり、「課題」は把握できていない。
- ・ もはやオンプレのサーバーでどうにかなるレベルを超えていること



Q7. 迷惑メールに関して、下記項目のそれぞれの必要性をどのようにお考えですか？

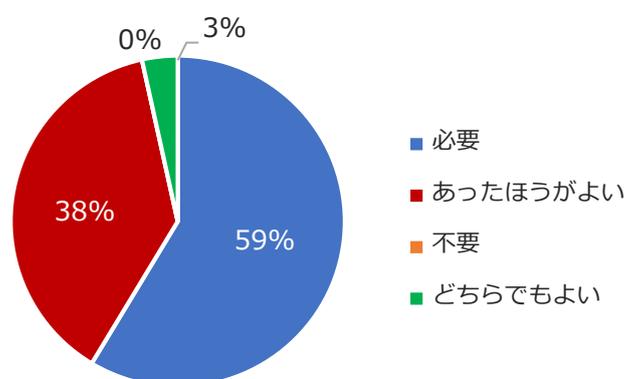
技術者教育（研修会など）

必要	64
あったほうがよい	46
不要	2
どちらでもよい	4
計	116



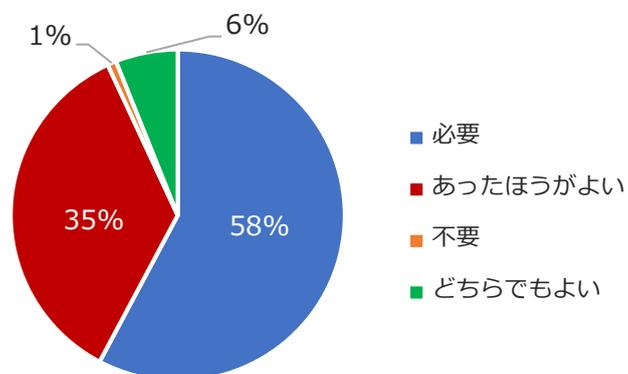
利用者啓発資料

必要	68
あったほうがよい	44
不要	0
どちらでもよい	4
計	116



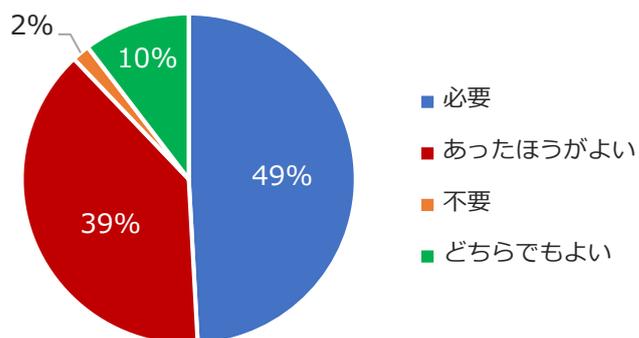
技術情報（マニュアルなど）

必要	67
あったほうがよい	41
不要	1
どちらでもよい	7
計	116



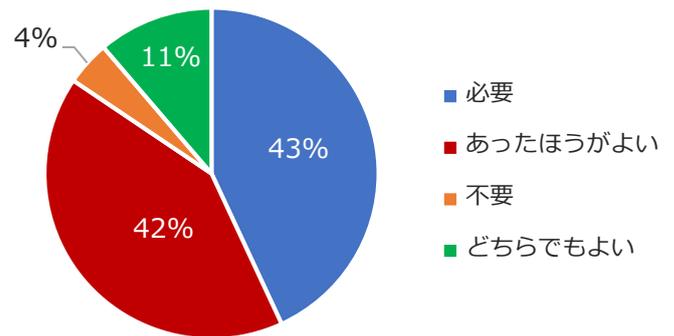
法制度改革

必要	57
あったほうがよい	45
不要	2
どちらでもよい	12
計	116



利用者教育（セミナーなど）

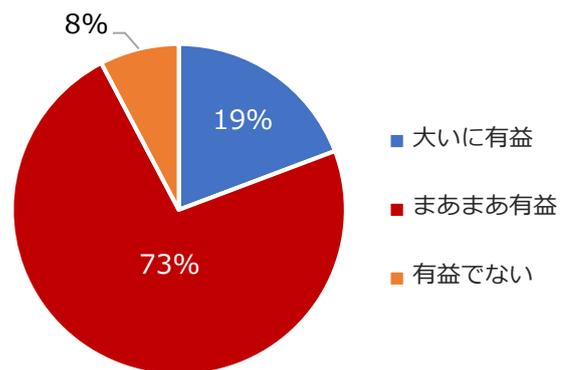
必要	50
あったほうがよい	48
不要	5
どちらでもよい	13
計	116



Q8. 今回の各テーマは、あなたにとって有益でしたか？セッションの評価をご記入ください。
（聴講されたもののみお答えください）

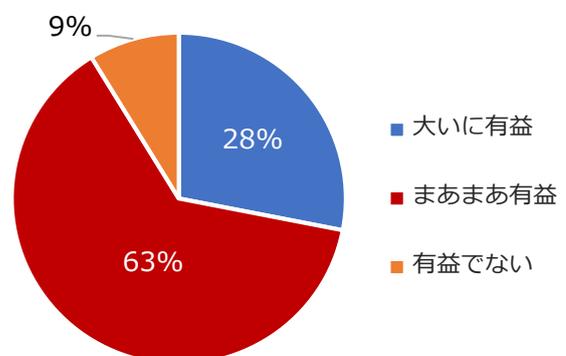
A1 <オープニング>

大いに有益	10
まあまあ有益	38
有益でない	4
合計回答数	52



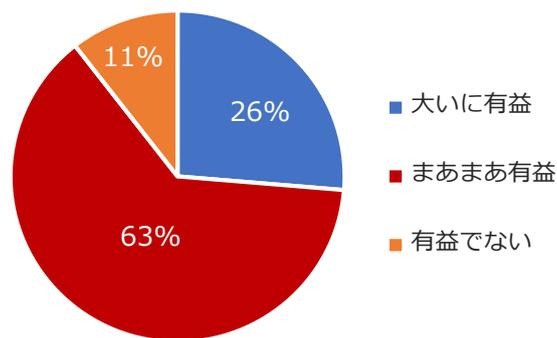
A2 <Keynote 1> M3AAWG and Global Security Overview I

大いに有益	16
まあまあ有益	36
有益でない	5
合計回答数	57



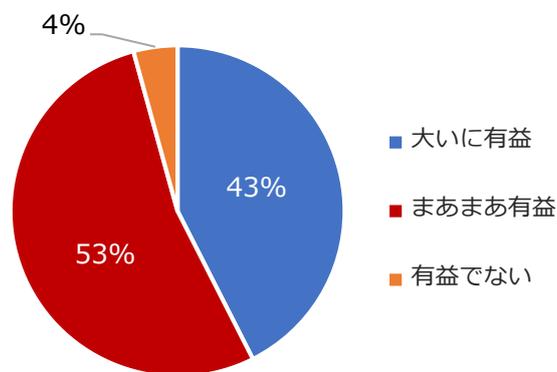
A3 <Keynote 2> M3AAWG and Global Security Overview II

大いに有益	15
まあまあ有益	36
有益でない	6
合計回答数	57



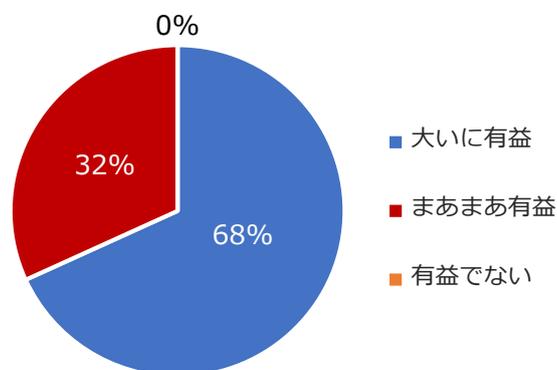
A4 <ランチセッション> 世界中で集めた脅威データから見える日本のメールセキュリティの傾向と対策

大いに有益	20
まあまあ有益	25
有益でない	2
合計回答数	47



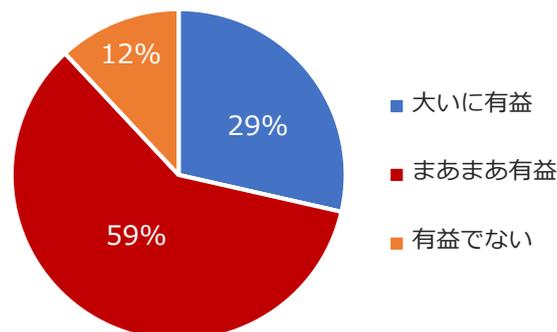
B4 <ランチセッション> メールセキュリティ・トレイルマップ ~DMARC やその先にある世界~

大いに有益	30
まあまあ有益	14
有益でない	0
合計回答数	44



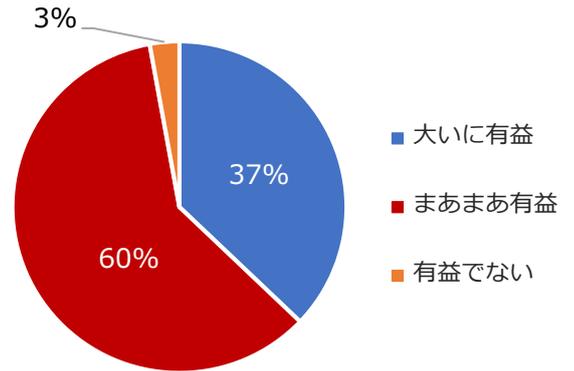
A5 脆弱な IoT 機器及びマルウェアに感染している IoT 機器の利用者への注意喚起 (NOTICE) の取組

大いに有益	12
まあまあ有益	25
有益でない	5
合計回答数	42



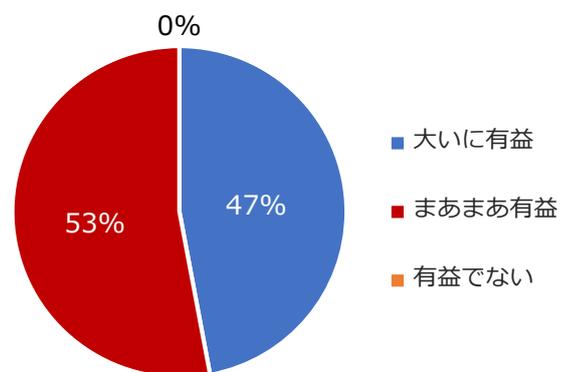
B5 サイバー脅威の予測型防御における AI テクノロジーの活用

大いに有益	13
まあまあ有益	21
有益でない	1
合計回答数	35



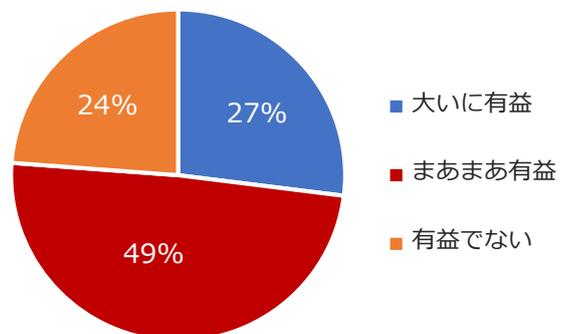
C5 <トレーニング> メール運用者のための DNS 入門

大いに有益	8
まあまあ有益	9
有益でない	0
合計回答数	17



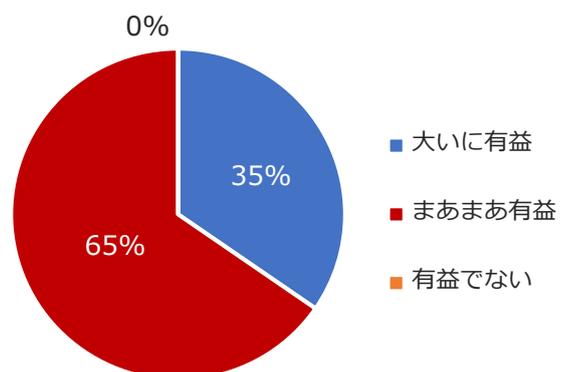
A6 11 年間メール製品のテストを 行ってきた歩みと、その歩み から感じる時代の変化

大いに有益	17
まあまあ有益	31
有益でない	15
合計回答数	63



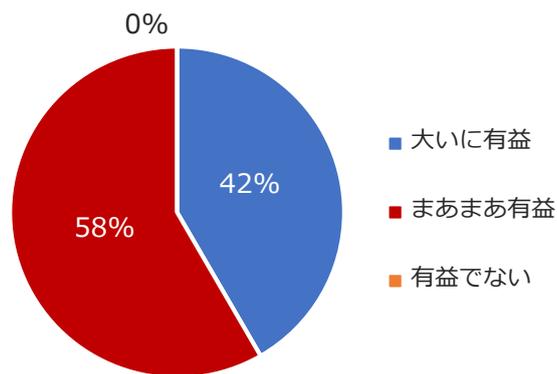
B6 M3AAWG 47 Montreal 報告

大いに有益	9
まあまあ有益	17
有益でない	0
合計回答数	26



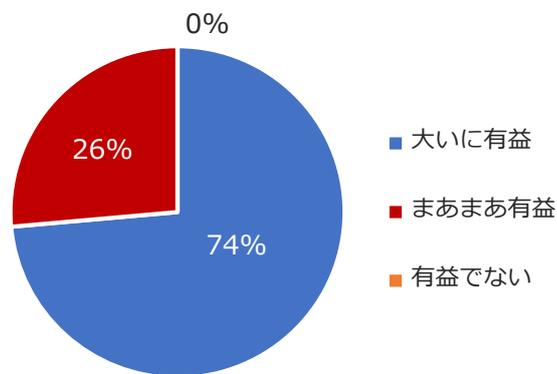
C6 <トレーニング> 初心者向けメールプロトコル

大いに有益	5
まあまあ有益	7
有益でない	0
合計回答数	12



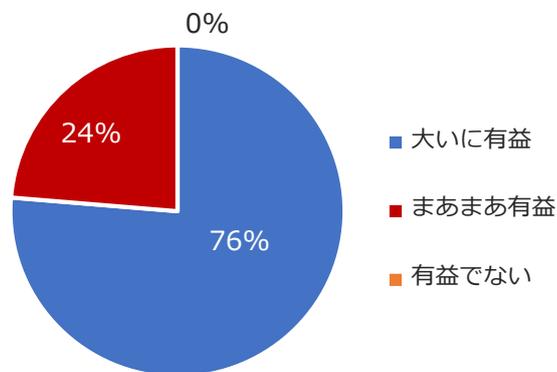
A7 送信ドメイン認証技術最新アップデート

大いに有益	39
まあまあ有益	14
有益でない	0
合計回答数	53



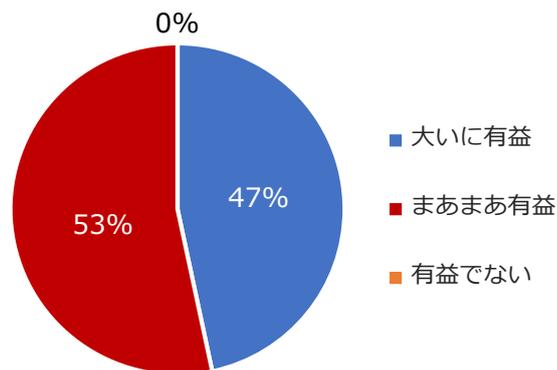
B7 ユーザーのアカウントを守れ！ ～アカウント不正利用の実態と対策～

大いに有益	29
まあまあ有益	9
有益でない	0
合計回答数	38



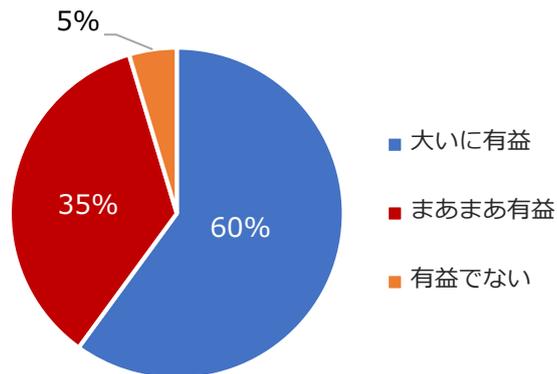
C7 <トレーニング> メールソースの読み方

大いに有益	7
まあまあ有益	8
有益でない	0
合計回答数	15



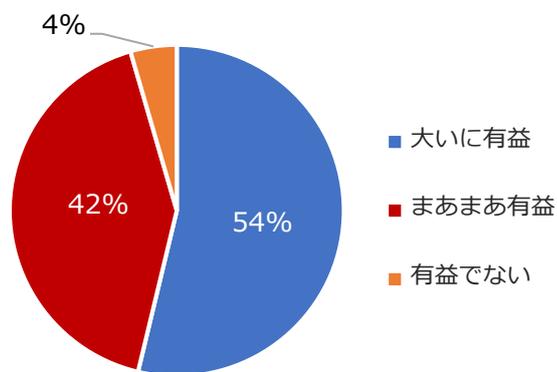
A8 教えて！モバイル宛Eメールの送り方、えっそうなの？！Abuse 申告対応の裏側

大いに有益	39
まあまあ有益	23
有益でない	3
合計回答数	65



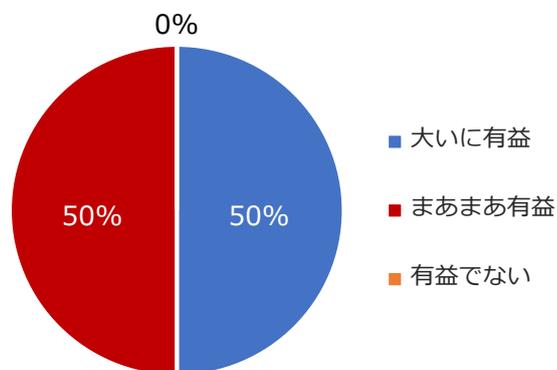
A9 再び！メールサービスを支える運用者の集い（前半）

大いに有益	36
まあまあ有益	28
有益でない	3
合計回答数	67



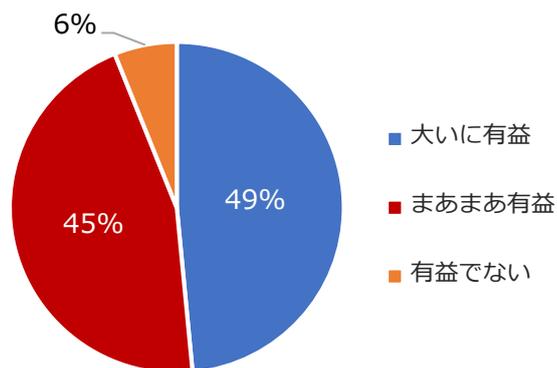
A10 <Keynote 3> Global Security Overview III

大いに有益	18
まあまあ有益	18
有益でない	0
合計回答数	36



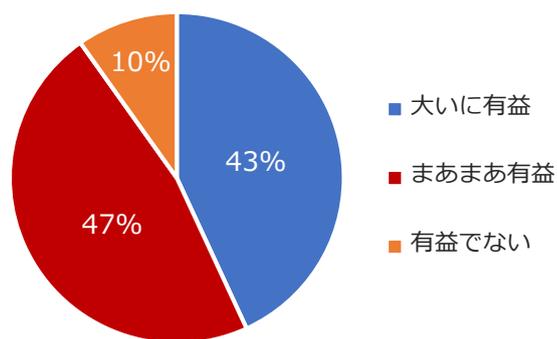
A11 Open Round Table

大いに有益	16
まあまあ有益	15
有益でない	2
合計回答数	33



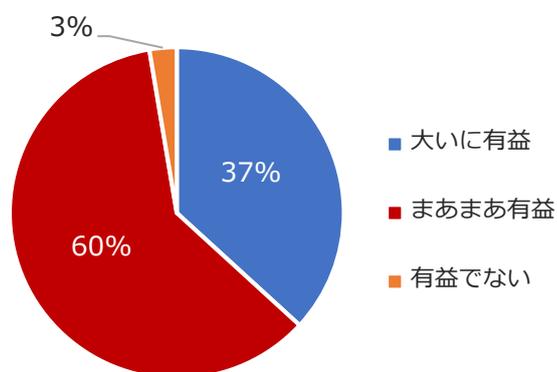
A12 <ランチセッション> DMARC 集計レポートを活用した、なりすましメールの見つけ方

大いに有益	22
まあまあ有益	24
有益でない	5
合計回答数	51



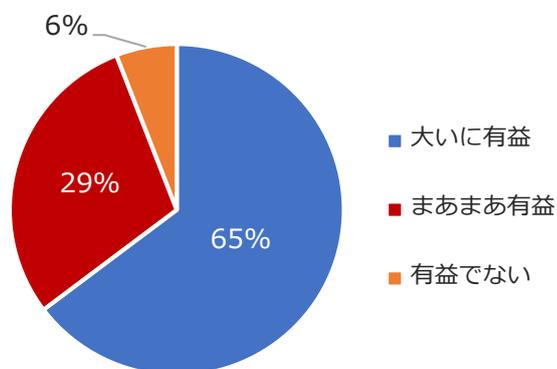
A13 メールインフラでの GDPR オーバービュー

大いに有益	14
まあまあ有益	23
有益でない	1
合計回答数	38



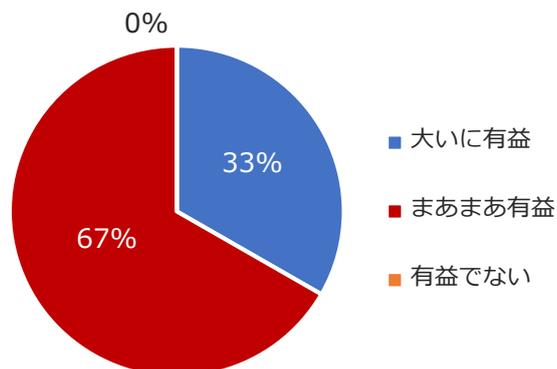
B13 ライトニングトークセッション (20代限定)

大いに有益	11
まあまあ有益	5
有益でない	1
合計回答数	17



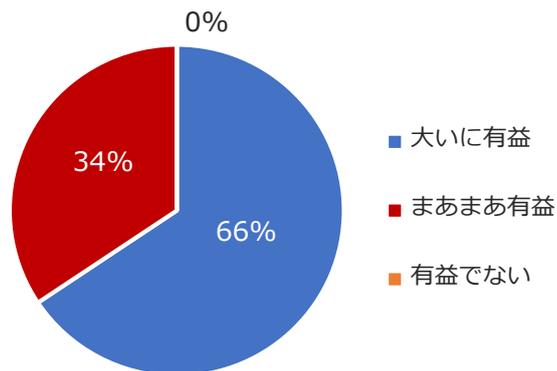
C13 <トレーニング> 送信ドメイン認証なんだっけ

大いに有益	4
まあまあ有益	8
有益でない	0
合計回答数	12



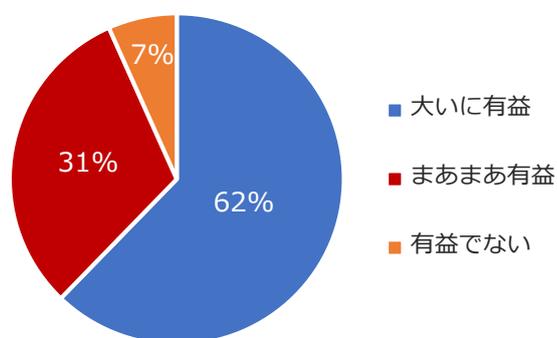
A14 <パネルセッション> ISP から見た DoT/DoH と DNS の今後

大いに有益	21
まあまあ有益	11
有益でない	0
合計回答数	32



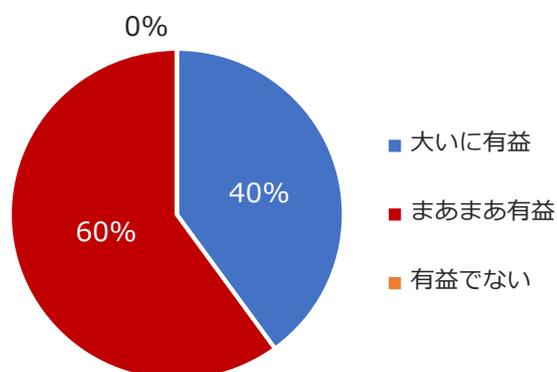
B14 送信ドメイン認証とドメイン名調査からわかるメールの実態!

大いに有益	28
まあまあ有益	14
有益でない	3
合計回答数	45



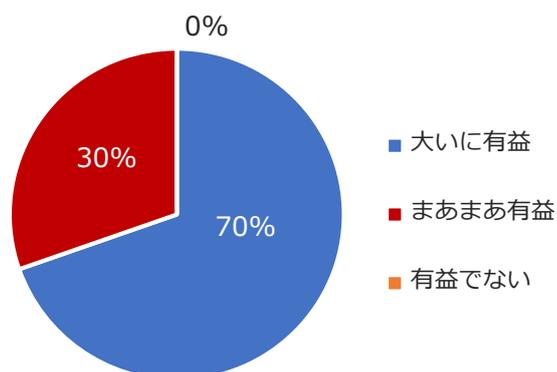
C14 <トレーニング> ゲーム演習で学ぶ CSIRT のうごき

大いに有益	4
まあまあ有益	6
有益でない	0
合計回答数	10



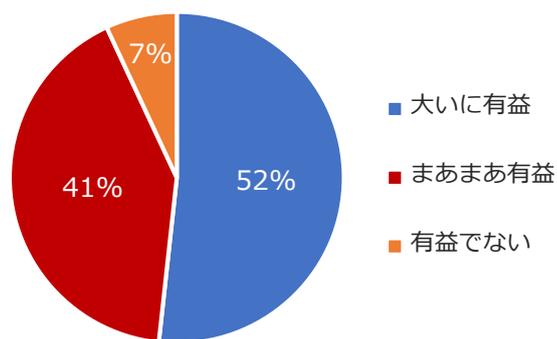
A15 DMARC 導入事例紹介

大いに有益	39
まあまあ有益	17
有益でない	0
合計回答数	56



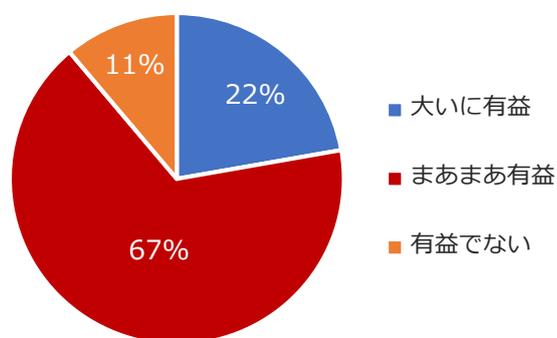
B15 ネットの向こう側に苦情を伝える方法 ～ Abuse Desk Best Practice

大いに有益	15
まあまあ有益	12
有益でない	2
合計回答数	29



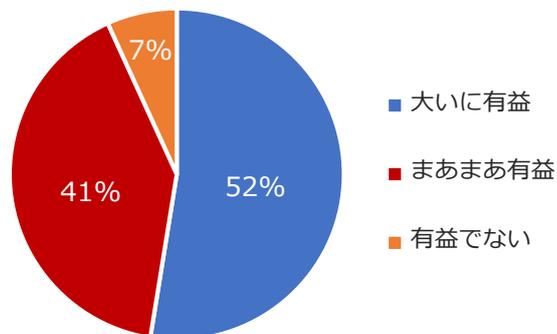
C15 <トレーニング> メールセキュリティ CTF ハンズオン

大いに有益	2
まあまあ有益	6
有益でない	1
合計回答数	9



A16 <パネルセッション> 再び！メールサービスを支える運用者の集い（後半）

大いに有益	31
まあまあ有益	24
有益でない	4
合計回答数	59



Q9. その他ご意見、感想、お気付きの点などありましたらご自由にご記入ください。

良かった点：

ランチが良かった。机があるのはいい。

来年も開催してください

今回は参加させていただきありがとうございました。

とても有意義でした。

次回は知り合いにも宣伝します！

最近の情勢を含めいろいろな情報を入手することが出来ました。ありがとうございます。

2日間になって去年より良かったです。

若い人たちのセッションやライトニングトークがとてもよかった。海外からの参加者が多いのも良かった。

興味のあるセッションばかりで分身したくなりました。ありがとうございました。

要望・改善点：

会場の温度が低かった（2件）

wifi 環境が欲しいです（3件）

C5のトレーニングを受講しました。後半にメールに特化した詳細な話があったのに、駆け足で少し残念でした。もっと聞きたかったです。

A6のセッションで、脱メールという話がありましたが、今後はメールとチャットが役割を持つようになるか、お互いのデメリットを補完するような機能ができてくるのかなと思っています。新しい仕組みができてきたら、ぜひ紹介してもらいたいです。

A8のセッションでは、とても興味深い内容を聞くことができました。質問でも出しましたが、キャリアの送信ドメイン認証の導入の仕方についてはとても興味があります。(送信する側にとっても、送信ドメイン認証に対応するきっかけになる。)共有できるタイミングになったら、ぜひ情報をもらいたいです。

企業では、マイクロソフトや Google などの SaaS 型のメールサービスを使うケースが増えていると思いますが、セキュリティへの対応がわりと独自路線な感じだと思っています。それらの事業者の話も聞いてみたいです。

各セッションの申込みを事前に受け付けておられました。

申込時に希望するセッションが取れなかったため、やむなく別セッションを申し込みましたが当日は特に申し込みセッションの確認なく自由席となりましたが、申込みを無視してあいていれば自己判断で別セッションを受けても良いものだったのでしょうか。

A7,A8 で質問があり、挙手したが、時間切れで質問できなかった。また、その後講演者を探したがわからなかった。(A7 は英語ができないので、日本語での質問を優先して欲しかった。)

もし、可能なら以下の質問を伝えて、回答が欲しい。

◆A7-Q:

話の中で、DMARC レポーティングが DOS となったことがあった。しかし、通常の DMARC 設定でも、レポーティングが送信元に来るのは有用だが、レポートのトラフィック量は多い。レポーティングのトラフィック量を減らす事に関して、何かアイディアはあるか？

◆A8-Q1:

3 事業者様に対し

一時ユーザがいなくても、エラーメールが戻ってこなかった気がするが、現在は、ユーザが解約した後、エラーメールは必ず戻るのか？(存在しなくなったアドレスへの繰り返しの送信で、迷惑メール送信元と判断されるとの発表もあったため。

しかし、エラーメールがないと、ユーザがいなくなったことは判別が困難な状況もある)

◆A8-Q2:

会社でレンタルサーバを借り、メール運用している立場から、

携帯キャリア様からの Abuse 申告で、レンタルサーバ事業者でサーバ停止やアカウント停止が行われた

場合に、何も迷惑メールを送信していないサーバが巻き込まれたり、間違われたりした場合の対応は、どのように考えられているのか教えてほしい。

会場が少し寒いです。2日だと会社員にはキツイです。メッセージング、セキュリティ、モバイル等もっと幅広いテーマにしてもらえると参加しやすいです。

外人の私語がうるさかった

受講者がパワポをカメラで撮るシャッター音が気になりました。禁止するか、当日の資料を共有いただきたいです。

他の人のカメラのシャッター音がうるさかったので全部撮影禁止にしてほしい

今回有料トレーニングに参加致しましたが、

45分は足りないと感じましたので、90分以上でお願い致します。

ただ、そうなると思いたいセッションが見れないかもなので、

M3AAWGのように別日開催、もしくは、全然別のイベントとしての開催を希望致します。

セッションが2つ並行してどちらも聞きたい場合があります。

官公庁の機関が参加する場合には、スポンサーとして会員にはなれないと思いますが、何かこのような会からの情報提供が受けられるような参加の仕方がありますでしょうか。

女性発表者が少ないのが残念だった。

楽天の事例紹介のような技術と社内環境での対応事例紹介のセッションがあると自社の状況と比較したり今後の対応の参考になると思います。後はどこかのセッションで仰ったのですが、確かに参加者の年齢層が高いので若いエンジニアにももっと参加してもらいたいです。

苦言をていしている印象を受けるかも知れませんが、少しの工夫で更に楽しいカンファレンスになるという期待からの発言です。ご理解の上、ご参照ください。

- ・カンファレンスの趣旨や内容には大満足ですが、ホスピタリティーが甘い印象。

- ・内容が難しい、内容が簡単すぎた、内容が想像と違った等の理由で途中退室する人を多く見かけた。

セッションによってターゲットが結構違うからアナウンスが欲しいという声も場内から聞こえてきた。

パンフレットなどに、ISP向け、エンジニア向け、初心者向け、上級者向けなど、いくつかの 카테고리を用意してターゲットのガイドがあってもいいかも知れない。

- ・Twitterが機能していなかった印象

RTでバッチプレゼントとあったが公式の情報発信が少ない、RTしたくなる魅力的なツイートもなかった。ハッシュタグ #jpaawg でツイートでプレゼントの方が効果があったのでは？

- ・ハッシュタグ #jpaawg についてのアナウンスが無かった。去年のハッシュタグの方が盛り上がっていた印象。

- ・質疑応答は、slido を検討してみたいかですか？質疑応答は少ないのが常ですが、それにしても少な過ぎた印象

- ・運営側が質問をしている場面を多く見かけたがあまり印象はよくない。

- ・参加型のセッションや、ゆるめのセッションをもう少し増やして欲しい。そうすれば客層の間口も広がるのでは？

- ・ロビーに居場所がない。椅子やテーブルを設置して欲しかった

- ・運営側の内輪ノリが垣間見れるシーンが多かった。内輪ノリは客の見えない所で

- ・懇親会に、一般客も参加させて欲しかった。

2日間は長い。内容の薄いセッションが多いのでそういうものを減らして1日にまとめて欲しい。

特にA6を採択した理解に苦しむ。以後クオリティは登壇を遠慮いただきたい。

A11は日の最初か最後の枠にして欲しい。

もう少し展示ブースが広ければよかった。

講演前に撮影禁止に関する説明があり、資料にもわかりやすく撮影禁止マークがあったものの、撮影する聴講者がいました。事前のアナウンスしか運営側からの対処が見られなかったのは残念です。

講演者と連携して、適宜注意喚起するなどあっても良いのではないのでしょうか？

貴重な情報を用いた講演が減少する懸念があります。

終了後ではなく事前に資料の URL をご連絡いただけた方が良かったと思います。

C14 に参加しとても有意義でした。もう少し参加費が安くてもよかったかなと思います。

ラウンドテーブルは大変いい試みだったと思う。ただ、進め方に工夫が必要と感じた。

「DMARC がなぜ普及しないか」に参加したが、とても興味深い題材として、導入の費用対効果、解析ツールの重要性、通秘の問題など意見がでたものの、参加者の立場（運用企業、ISP 事業者）が整理されず、話があまりかみ合わない状況であった。（結局、「まずは、p=none を設定しましょう」とわけのわからない結論で結ばれてしまった）

次回に本格的な（論点が整理され、アクションに結び付く）議論の場を希望する。

6. EventRegist 自動送信アンケート集計結果

回答数 当日来場者 : 436 名 アンケート回答数 : 102 名 回答率 : 23%

（総合評価：★1～5）合計 102 名 平均点 4.18

総合評価	★5	★4	★3	★2	★1
人数	46	34	17	4	1

良かった点：

A12 の資料前半の内容がとても良かったです。

A8,A9,A10, A14,A16 が特に興味深かったです。

ARC の話を聞いてよかった。お弁当ごちそうさまでした。

DMARC の最新情報についていろいろ知れたことは有意義であった。最新のサイバー攻撃の情報なども詳しくして役にたった。ぜひ来年 3 回目を開催してほしい。

D M A R C の浸透を感じることができました。

Open Round Table で参加者の直接の声を共有できたのは有意義でした。

とても勉強になりました。

メール関連の貴重なイベントです。運営は大変かと思いますが次回もよろしくお願いいたします。

今年からセキュリティ回りの開発に携わることになり、初めてこのようなセミナーに参加したが、とても有意義な時間となった。

懇親会にて、様々な会社の方と意見交換することができ有意義であった。

大変参考になりました。

大変情報としてありがたかった

大変有意義でした。ありがとうございました。

知らなかった迷惑メール対策技術を知ることができたり、最新情報を知ることができたりととても有意義なカンファレンスでした。社内でも情報を共有や最新技術の取り入れを進めていきたいと思います。

日本のメール業界の人たちが一堂に会して非常に盛況だった。内容も興味深いモノがあり、参考に出るモノが多々あった。

パネルディスカッションは運営とか空気のコントロールが難しいなとあらため感じた。分けて LT は勢いもあり、特に面白かった。

非常に有意義なセミナーでした。ありがとうございます。

有用になった。

DMARC に関する有益な情報を得ることができた。

DMARC はもうそこそこ普及してきてるんですね...こういうイベントに参加しないとそういうのなかなかわからないですね

インターネットを中心にセキュリティに関する問題点が多々あることがわかり、弊社にとっては未着手の事項がありことがわかり参考になりました。

業務により2日目は参加できませんでしたが、英語のプレゼンテーションが内容の濃いものが多く勉強になりました。また、ハンズオンのセミナーの併催もユニークでよいとおもいました。

途中までの参加でしたが最新トレンドを伺えて勉強になりました。

普段、企業様のお話を聞く機会は中々ございませんので、こちらの迷惑メールカンファレンスは大変有意義な場として使用させて頂いております。

弊社はメール配信ツールを提供していることもあり、メールに関わる多くの人の意見や考え、最新の情報を拝聴でき、勉強させて頂いたことを生かして、日々の業務、弊社メール配信ツールの今後の展開等を話し合っております。今年もありがとうございました。

セッションの数や2日という日程はちょうど良いと感じました。

-
- Really well prepared and translated sessions.
 - High participation in ORT session.
 - Impressive number of attendees.

Gathered some good information. It's good that many events covered with translation.

Very much inspired.

要望・改善点：

マイクで発言する以外にネットからリアルタイムに質問できる場があるといいと思います。

大変勉強になりました。講義終了間際、今回のスライド資料をダウンロードできると伺っていたのですが、どこでいただけるのでしょうか。

大変有意義なセッションでした。セッションで使用した資料のダウンロードができれば後で見返せるのでよいと思います

資料が配布されるとさらに有意義になると思います。

大変有意義でした。できれば、公開可能なプレゼンがダウンロードできるとありがたいのですが。

同時開催のセッションがいずれも参加したく迷う場合がありました。公開予定の資料に期待したいと思います。

写真撮影の許可／不許可が非常に分かりにくかったので、改善した方がよいと思います。説明が一切無かったためよくわかりませんでした。

また2日目のKeyNoteで「写真撮影の際に、講演者をSNS等に公開禁止」とアナウンスされていましたが、これは「スライドは撮って良い、ということか？それとも全面禁止なのか？」とよくわかりませんでした。

11年間メールの。スピーカーの話だけで貴重な時間を割いてしまった。ランチセッション程度なら理解もできるが得るものがなかった。もう少しメールやSMSのSPAM手法と対策を聞きたかった。1日目最後の集は櫻庭さんとチアマンの世間話かとおもったら違ったのが残念。OCNさんの参考になったけどあういうノウハウを聞きたかった

この度は貴重な講演、講義のお時間をいただきありがとうございました。講義については、初心者向けのクラスを受講しましたが、もう少しじっくりお話伺えるとなおよいと感じました。またの機会もお待ちしております。

日本側のISPからの発表もあったほうがより盛り上がる気がしました。

セッションの合間にもう少しインターバルがあるとうれしい（特にランチセッション前後）

印刷されるプログラムに、11/14(木)10:00からの「オープニング」も記載して欲しかった。オープニングの途中からの参加となってしまった。

業務の都合上、「再び！メールサービスを支える運用者の集い（後半）」のみの参加となりました。内容もパネラーも良かったのですが、扱う内容に対して時間が足りなくて議論、質問等がほぼできない状況にあったと思います。前日からの続きでもなさそうでしたので、1回1時間半くらいの枠で実施してもよかったように思います。

現在の業界の状況がよく分かったという意味では、大変役立ちました。一方でグローバル手法から学ぶといった点や、キャッチアップがかなり遅れているのではないかと感じられた次第です。プレゼンテーションのトレンドに関してかなりバラツキがあった為、今後への課題ではないかと思えます。配布された迷惑メール白書 2019 はよく出来ていると思えます。(ので+1しました)

内容がやや重複しているコースが多いと感じました。

やりかけのプロジェクトの紹介や、自分の職歴やセキュリティに関係ないメールクライアントの変遷を紹介するだけ、スポンサー会社の製品紹介だけのプレゼンも無駄。外国人のほうが、日本での最新のフィッシングの現状の紹介、メールセキュリティ機能向上のための具体的な質問に的確に答えてくれてためになった。国内メールセキュリティ対策が進まないのはこの態度の違いがまさにその理由だろう。残念。事前に登壇者からも撮影禁止の資料に関する説明があったにも関わらず、該当資料を撮影する聴講者がいました。撮影時の音も聞こえていましたが、運営者からの注意などがありませんでした。これでは登壇者が貴重な情報を提供した善意が踏みにじられていないでしょうか。とても残念です。聴講した講演はどれも素晴らしいものでした。聴講者のマナーについて対策をご検討くださいますことを期待します。

正直 5,000 円とって行う内容ではないかなと思った次第です。もっとメールに寄せた rDNS の話や認証と DNS の関わりなどを期待していました。酷な言い方ではありますが、あの内容ですと、3 分間 DNS 基礎講座を読んだ方が為になるかと・・・

(C5 メール運用者のための DNS 入門【有料トレーニング】参加者)

7. 講演者からのご意見

・控室に、ティッシュ/ウェットティッシュや水などがなかった。

>水道もないので、登壇者が髪の毛をセットした後に手をトイレまで洗いに行くという光景を何度かみました。

・JPAAWG 関係者以外の登壇者に対するフォローがない

>私を含め、当日、何をどうしたらいいのかわからず困っている人が何人かいました。

>当日の段取りや進行を把握していて、登壇者の為に動いてくれるスタッフが居てもいいかも知れません。

・通訳の方との事前ブリーフィングで確認し忘れましたが

どの程度の速さで話したら良かったのか戸惑いながら講演を進行していました。

・ホール A 後方席の方は投影モニタが見辛いように感じました。

事前にフォントサイズ x x 以下は見辛いなどの情報が欲しかったです。

用意できたのであれば中段以降の両サイドに予備モニタがあっても良かったかもしれません。

・jpaawg は antiabuse 全般を扱う方針のはずだが、依然としてメールの話がほとんど。

自分が登壇したものを含めそれ以外もないわけではないが、バランスが取れてない感がある。

・会場をざっと見渡した感じだと、参加者がサービスを売りたい人と、規格を推進したい人と、すでに導入済みの人ばかりが目立った印象。実際の内訳はわからないので本当のところはどうなのか不明だが、まだ導入してない人たちに意義をアピールできていないのではないかと。セッションの内容もすでにある程度わかってる人たちに対してさらに理解度を高めようという主旨のものが多く、初心者向けセッションは有料で参加のハードルが高い。

・事務局からの連絡メールに DKIM も DMARC もないのはどうなのか。

e-side に無料コンサルしてでも導入してもらおうか、そうでなければ jpaawg.org のアドレスで送るべきなのでは。

・イベント全体

セッションごとの質問や感想をその場でスピーカーにフィードバックできる仕組み（Mentimeter など）があればもっとインタラクティブな場にできるかもしれないと思いました。

行動規範の周知はとてもよかったです。ラウンドテーブルでは特に大切だと思います。

・登壇に関して

運営スタッフの方特に加瀬様、森崎様にはセッションの構成のアドバイスや発表コンテンツのフィードバックなど多大な支援をいただきました。

無事に発表できたのはスタッフ皆様のご支援のおかげだと感謝しております

皆様によろしくお伝えください

B4 のセッションにおいて、早めに終わった場合質疑応答にすると伺ったので、少し早めに終わりましたが、質疑応答の時間は設けられませんでした。

後で、何人かに質問をいただきましたので、質疑応答の時間を充ててもよかったかもしれません。

全体的には、非常によかったです。

当該セッションに参加された方、皆様熱心に演習に取り組んでいただき、今後の演習の改ざんの参考になり、感謝しております。

また、当日指定時間に控室にいたのですが、運営の方と事前のブリーフィング等を行われなかったため、少し不安でありました。



8. プログラム

DAY 1 - Nov. 14 (Thu.)			
	Main (Hall A)	Sub (Hall B)	Room
09:30~10:00	受付		
10:00~10:20	A1 オープニング		
10:20~11:05	A2 Keynote1 M ³ AAWG and Global Security Overview I		
11:05~11:10	休憩		
11:10~11:55	A3 Keynote2 M ³ AAWG and Global Security Overview II		
11:55~12:40	A4 ランチセッション 世界中で集めた脅威データから見える日本のメールセキュリティの傾向と対策	B4 ランチセッション メールセキュリティ・トレイルマップ～DMARCやその先にある世界～	
12:40~13:25	A5 脆弱なIoT機器及びマルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起(NOTICE)の取組	B5 サイバー脅威の予測型防御におけるAIテクノロジーの活用	C5 トレーニング(有料) メール運用者のためのDNS入門
13:25~13:40	休憩		
13:40~14:25	A6 11年間メール製品のテストを行ってきた歩みと、その歩みから感じる時代の変化	B6 M ³ AAWG 47 Montreal 報告	C6 トレーニング(有料) 初心者向けメールプロトコル
14:25~14:55	コーヒーブレイク		コーヒーブレイク
14:55~15:40	A7 送信ドメイン認証技術最新アップデート	B7 ユーザーのアカウントを守れ! ~アカウント不正利用の実態と対策~	C7 トレーニング(有料) メールソースの読み方(初心者向け)
15:40~15:55	休憩		
15:55~16:40	A8 パネルセッション 教えて! モバイル宛Eメールの送り方、えっそうなの?! Abuse申告対応の裏側		BoF開催します! 『今求められるLinux技術者のアーキテクト人材とは』 LPI-Japan 鈴木 敬夫
16:40~16:55	休憩		
16:55~17:40	A9 パネルセッション 再び! メールサービスを支える運用者の集い(前半)		

DAY 2 - Nov. 15 (Fri.)			
	Main (Hall A)	Sub (Hall B)	Room
09:30~10:00	受付		
10:00~10:45	A10 Keynote3 Global Security Overview III		
10:45~10:50	休憩		
10:50~12:05	A11 Open Round Table		
12:05~12:50	A12 ランチセッション DMARC集計レポートを活用した、なりすましメールの見つけ方		
12:50~13:35	A13 メールインフラでのGDPRオーバービュー	B13 ライトニングトークセッション(20代限定)	C13 トレーニング(有料) 送信ドメイン認証なんだったけ
13:35~13:50	休憩		
13:50~14:35	A14 パネルセッション ISPから見たDoT/DoHとDNSの今後	B14 送信ドメイン認証とドメイン名調査からわかるメールの実態!	C14 トレーニング(有料) ゲーム演習で学ぶCSIRTのうさぎ
14:35~15:05	コーヒーブレイク		
15:05~15:50	A15 DMARC導入事例紹介	B15 ネットの向こう側に苦情を伝える方法~ Abuse Desk Best Practice	C15 トレーニング(有料) メールセキュリティCTFハンズオン
15:50~16:05	休憩		
16:05~16:50	A16 パネルセッション 再び! メールサービスを支える運用者の集い(後半)		
16:50~17:05	クロージング		

 = 同時通訳講演

A1	オープニング	JPAAWG 2nd General Meeting/第19回送達メール対策カンファレンス 開催にむけて JPAAWG 会長/IAJapan 送達メール対策委員会 委員長/株式会社インターネットイニシアティブ 櫻庭 勇次	
A2	Keynote1 M ³ AAWG and Global Security Overview I	グローバルなセキュリティ対策組織である M ³ AAWG の活動やそこで議論されている内容についてご説明します。M ³ AAWG は定期的に General Meeting を開催し、様々な情報共有や議論を行っていますが、こうした会合はM ³ AAWGメンバーと招待されたゲストのみが参加可能であるため、その内容についてはあまり知られていません。今回はM ³ AAWGチェアと活動組織の一つであるDDoS SIGのチェアから、M ³ AAWGの活動や最近のトピックスについてご紹介します。 【登壇者】 Severin Walker, M ³ AAWG Chairman/Comcast Corporation Rich Compton, M ³ AAWG DDoS SIG Chairman/Charter Communications	
A3	Keynote2 M ³ AAWG and Global Security Overview II	M ³ AAWGで議論されている内容から、以下の2つのトピックスについてご紹介します。 CNNによるフィッシングブランドロゴの検出 フィッシングは今でも大きな脅威です。セキュリティベンダーの技術を進化させるために、攻撃手法はますます高度になっています。ブランドになりすましたフィッシングの脅威を検出するために開発した、量込みニューラルネットワーク(CNN)に基づくロゴ認識技術についてご紹介します。 【登壇者】 Sebastien Goutal, CSO, Vade Secure 5G時代のモバイルセキュリティ 飛躍的な変化をもたらす5Gネットワークのセキュリティについて、携帯通信事業者の業界団体「GSM Association」の理事がその全貌を解説。 【登壇者】 David Turkington, Head of Technology, APAC, GSMA	
A4	ランチセッション 世界中で集めた脅威データから見える日本のメールセキュリティの傾向と対策	電子メールを悪用する脅威はますます巧妙化し増加しています。常に新しい脅威への対策が必要になります。Cloudmarkは世界中で20億人のユーザから送達メール、フィッシングメール、マルウェアメールのレポートを日々受けており、その傾向の分析と対策をご提供しております。今回、Cloudmarkが収集した膨大なデータの分析結果から日本に異なる脅威の傾向や特徴についてご報告するとともに、より日本に最適化したメールセキュリティ対策へのヒントをご案内します。 【登壇者】 Kevin San Diego, Cloudmark Product Management, Proofpoint, Inc.	
A5	脆弱なIoT機器及びマルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起(NOTICE)の取組	本年2月から開始された、総務省・NICT・ICT-ISACで連携して、脆弱なIoT機器及びマルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起(NOTICE)の推進状況について、ご紹介します。 https://notice.go.jp/ 【登壇者】 一般社団法人ICT-ISAC 事務局長 引地 信実	
A6	11年間メール製品のテストを行ってきた歩みと、その歩みから感じる時代の変化	11年間WEBメールおよびメールセキュリティ製品のテスト業務をしてきました。その11年間で経験したメール製品独自のテストの難しさ、ここ数年の要望、クレームの変化やその傾向をお話します。そこから感じるメールに関する現状の問題点として、パスワード付きZIPファイル問題、若手社員へのメール離れ、メール利用についてのジェネレーションギャップなどを挙げて、その解決策の案を提示します。 【登壇者】 株式会社クオリア 主任 吉川 誠一	
A7	送信ドメイン認証技術最新アップデート	送信ドメイン認証技術 DMARCやARCの概要、グローバルでの普及状況について解説します。 【登壇者】 Steve Jones, DMARC.org/LinkedIn	
A8	パネルセッション 教えて!モバイル宛Eメールの送り方、えっそうなの?! Abuse申告対応の裏側	モバイルキャリアのEメール宛に送信する際の注意点を説明します。また、モバイルキャリア宛に送付されたAbuse申告の事例を元に、送信元事業者と連携しスパムメールを減らすべくどのような対応を行っているのかと、今後の展望も交え解説します。 【登壇者】 株式会社NTTドコモ 正見 義一/KDDI株式会社 村西 勇樹 ソフトバンク株式会社 奥山 智希/井手 上 泰彦	
A9	パネルセッション 再び!メールサービスを変える運用者の集い(前半)	利用者が安心してメールサービスを使えるように安定運用は欠かせません。問題が発生した場合には迅速な原因分析・復旧対応が求められます。これまでは海外ISPが主な送達メールの発信源でしたが、最近は国内ISPから発信される事象が発生しています。誰かメール送信、アカウント不正利用に関して傾向の分析と対策の取り組みについて議論をします。 【登壇者】 一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター 平塚 伸世 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 山田 慎彦	
A10	Keynote3 Global Security Overview III	ここでは、DNS やマルウェア、フィッシングや最新のスパムの手口等について、グローバルに活躍しているそれぞれの分野の専門家から、最新のセキュリティトピックスについてそれぞれ講演していただきます。 【登壇者】 Emanuele Balla, CIO, Spamhaus Technology/Kaspersky GReAT セキュリティリサーチャー 石丸 優/Adrien Gendre, Chief Solution Architect, Vade Secure/ Kevin SanDiego, Vice President/Product Management, Cloudmark, Inc.	
A11	Open Round Table	Open Round Tableでは、参加者がいくつかの小さなグループに分かれて、特定のテーマについて自由な意見を共有し、問題の深掘りや課題の整理をします。毎回の M ³ AAWG でも必ず開催されるセッションです。皆さんの積極的な参加を期待しています。テーマ1:IPアドレス固執型ロジック問題/テーマ2:DMARC普及を妨げているものは何か/テーマ3:送信元から見た国内ESPと海外ESPのギャップ 他	
A12	ランチセッション DMARC集計レポートを活用した、なりすましメールの見つけ方	送信ドメイン認証技術DMARCには、認証結果の集計レポートをドメイン管理者が受け取る機能があります。しかし、この集計レポートの分析は簡単ではありません。本セッションでは、DMARC集計レポート分析/可畏化サービス「DMARC/25」を利用して、自社ドメインへのなりすましメールを検知/排除する方法をご紹介します。 【登壇者】 株式会社TwoFive 開発マネージャー 伊藤 卓人	
A13	メールインフラでのGDPRオーバービュー	日本企業も絶対に無視できないEUのGDPR。メールやオンラインサービスでどう対応していくべきか要点を解説。 【登壇者】 Dennis Dayman, Growth and Development Chair, M ³ AAWG	
A14	パネルセッション ISPから見たDoT/DoHとDNSの今後	ISPやDNSを調査する立場から、DoT/DoH 技術の解説と各視点からの意見をもとに、議論していきます。 【登壇者】 株式会社インターネットイニシアティブ 山口 崇徳/株式会社コミュニティネットワークセンター ニコライ ポヤゼフ/Matthew Stith, Spamhaus Technology	
A15	DMARC導入事例紹介	DMARCが登場して数年、国内導入事例はまだ多くとは言えません。本セッションでは先んじて導入した企業・団体の方に登壇していただき、導入に至った経緯、導入後に明らかになったなりすまし状況等を報告いただき、DMARCの導入効果について議論します。 【登壇者】 楽天株式会社 北浦 龍志	

A16	パネルセッション 再び! メールサービスを支える 運用者の集い(後半)	利用者が安心してメールサービスを使えるように安定運用は欠かせません。既知が発生した場合には迅速な原因分析・復旧対応が求められます。普段蓄積している知や経験、ノウハウを共有することで将来展望につなげていきます。 【登壇者】ソフトバンク株式会社 北崎 直凡/エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 松本 正伸/ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社 沖 卓弘/ビッグロップ株式会社 加藤 理人/株式会社コミュニティネットワークセンター ニコライ ポヤジエフ/フリービット株式会社 三浦 敏孝/株式会社オプテージ 斎藤 龍	
B4	ランチセッション メールセキュリティ・トレイルマップ ~DMARCやその先にある世界~	送信ドメイン認証や暗号化など様々な技術があり、正直何から手を付けていいのかわかりません。どこまで行けばゴールが見えるのかわかりません。本セッションではそういった技術があり、どういった風に活かせるのかを解説しながら、将来のメールセキュリティのトレイルマップを描きます。 【登壇者】株式会社クオリアティア チーフエンジニア 平野 善隆	
B5	サイバー脅威の予測型防御における AIテクノロジーの活用	最近の脅威は、少しずつ形を変えた悪意を次々と生み出すことで従来の防御を巧妙にすり抜けようとしています。このセッションでは、最新のメールセキュリティの攻撃手法を解説し、そのためにどのような対策が効果的かを考え、ポリモーフィック型のサイバー攻撃に対してAIテクノロジーがどう役立つのかについて解説します。 【登壇者】Vade Secure 株式会社 岡根 章弘	
B6	M ³ AAWG 47 Montreal 報告	2004年の発足から今年で16年目を迎える M ³ AAWG。先月上旬 Montreal で開催された第47回定例会から、日本の皆様へお伝えしたい内容をパネル形式でご紹介します。 【登壇者】Vade Secure 株式会社 伊藤 美佳/株式会社インターネットイニシアティブ 黄 真暲 ソフトバンク株式会社 北崎 直凡/株式会社クオリアティア 平野 善隆	
B7	ユーザーのアカウントを守れ! ~アカウント不正利用の実態と対策~	パスワードリスト型攻撃などアカウントを取り巻くサイバー攻撃は、ここ数年大きな問題であり、さまざまなプレイヤーが課題解決を模索しています。ユーザーのアカウントを守ることは、皆さんのIT設備やサービス環境を守ることにもつながります。本セッションでは、最新の不正利用の状況や既知に関するソリューション・対策の実態を共有します。 【登壇者】ヤフー株式会社 ID・セキュリティユニットマネージャー 伊藤 雄祐 ヤフー株式会社 CISO室・不正利用対策担当 栗田 山希子	
B13	ライトニングトークセッション (20代限定)	ライトニングトークを開催します。応募条件は、メールに関わる若手(20代)です。5分のプレゼンテーションで皆さんの熱い思いを聞かせてください。	
B14	送信ドメイン認証と ドメイン名調査からわかるメールの実態!	DMARCを含めた送信ドメイン認証技術の認証結果を活用すれば、メールがどのように送信されているかを把握することができます。またメールに関する新しい技術仕様がいくつか提案されていますが、ドメイン名を調べればこうした最新技術の普及状況を把握することができます。ここでは、ドメイン名の視点からメールで利用されている技術の動向について報告します。 【登壇者】株式会社インターネットイニシアティブ 櫻庭 秀次/国立大学法人 東京農工大学 北川 直哉	
B15	ネットの向こう側に苦情を伝える方法~ Abuse Desk Best Practice	本セッションでは、さくらインターネットで abuse 業務に携わる山下様をお迎えして、以下のようなキーワードについて解説します。[abuseとは何か・窓口そのものの説明と扱う内容の説明][abuse 窓口への伝え方][プロバイダの立場でブラックリストを収集する方法・2019時点のおすすめリスト] 【登壇者】さくらインターネット株式会社 山下 優一	
C5	トレーニング(有料) メール運用者のためのDNS入門	メールに限らず、インターネット上で提供するアプリケーションにはDNSが必要不可欠です。そんなDNSの基礎を、メールシステムに携わるために必要となる知識を中心に、メールとDNSの両方に携わっている立場から解説します。 前提知識: メール基礎知識(推奨) 対象者: メールシステム運用に携わり、特に DNS について学びたいエンジニア 詳細内容: DNSの基本的な仕組み・動作原理の解説、メールシステムで利用されるリソースレコードの利用ケース・利用方法の解説 【講師】株式会社インターネットイニシアティブ 島村 亮	
C6	トレーニング(有料) 初心者向けメールプロトコル	メールに関連するプロトコル(SMTP/POP3/IMAP4)は普段はメールクライアントやメールサーバ側で実装されています。このトレーニングでは実際にプロトコルを実行して体験してもらいます。 前提知識: Linux 基本操作、telnet 基本操作、openssl 基本操作 対象者: メールシステム構築・開発・運用に携わるエンジニア 詳細内容: SMTP コマンドの解説と実行例、POP3 コマンドと実行例、IMAP4 コマンドと実行例 【講師】株式会社TwoFive 開発マネージャー 加藤 正樹	
C7	トレーニング(有料) メールソースの読み方(初心者向け)	普段扱ってはあまり目にする事のないメールヘッダーやメールの構造について基本から読み解きます。ヘッダーやメールソースを理解することで、怪しいメールに引っかからないようになってもらえれば幸いです。 前提知識: 特になし 対象者: メール構造に興味のある人・メールソースを見て怪しいメールかどうかを判断したい人 詳細内容: メールソースの見方・エンベロープとヘッダー・ヘッダーのエンコーディングの解説・文字コードの解説・ヘッダーの種類・メール本文のエンコーディングの解説・メール本文の構造・怪しいメールなど 【講師】株式会社クオリアティア チーフエンジニア 平野 善隆	
C13	トレーニング(有料) 送信ドメイン認証なんだっけ	SPFやDKIM、DMARCなどの言葉は聞いたことはあるけれど、具体的な仕組みはよく分からない...という方も多いのではないでしょうか? このセッションでは、様々な送信ドメイン認証技術の基本的な仕組みから、応用的な活用の仕方まで幅広く解説します。 前提知識: メール基礎知識(推奨)/対象者: メールシステムの構築や運用に携わるエンジニア 詳細内容: 送信ドメイン認証技術(SPF, DKIM, DMARC等)の基本的な仕組み、送信ドメイン認証導入のメリット等の解説 【講師】国立大学法人 東京農工大学 北川 直哉	
C14	トレーニング(有料) ゲーム演習で学ぶCSIRTのうさぎ	日々、自組織で発生するセキュリティインシデントに対し、情報収集、インシデントレスポンス、報告など適切な行動を求められ、活動していくCSIRT。本セッションでは、JPCERT/CC が作成したオリジナルのゲーム演習コンテンツを利用して、外部からの情報提供から始まるインシデント対応を感覚的に体験することが出来ます。 ※このセッションは、13:50から15:05 までの75分を予定しています 前提知識: ITに関する基本知識/対象者: CSIRT関係にかかわる人(セキュリティ担当者、システム管理者など) 【講師】一般社団法人 JPCERTコーディネーションセンター 早期警戒グループ 奥石 隆・平岡 佑一朗	
C15	トレーニング(有料) メールセキュリティCTFハンズオン	メールセキュリティに関する初級レベルのCTF問題の例題と解法の説明を行います。 内容: メールによってもたらされる現代の脅威、年々巧妙さを増すスミッシング、スミッシングが関連するフィッシングサイトの構造、フィッシングサイトを見破るポイント、フィッシングサイトの作成実演、CTF @E-mail特集 前提知識: Linux 基本操作、文字列のエンコード、デコードに関する基本的な知識 対象者: 電子メールサービスが運用されている方、フィッシングサイトの動向を把握したい方 【講師】ソフトバンク株式会社 松本 康之・栗田 大介/伊藤 秀明/岡部 巧・田中 健之介	

9. プログラム詳細

セッション写真・参加人数 ※目視によるカウント

～1日目 11月14日(木)～

A1 – 10:00-10:20 (同時通訳付き) 137名

Opening

株式会社インターネットイニシアティブ JPAAWG 会長 / IAJapan 迷惑メール対策委員会 委員長
櫻庭 秀次



A2 – 10:20-11:05 (同時通訳付き) 183名

Keynote 1 – M3AAWG and global security overview I

Severin Walker, Chairman – M3AAWG/Comcast Corporation



Rich Compton, - M3AAWG DDoS SIG Chairman/Charter Communications



A3 – 11:10-11:55 (同時通訳付き) 184名

Keynote 2 – M3AAWG and global security overview II

Sebastien Goutal - Chief Science Officer (CSO), Vade Secure



David Turkington - Head of Technology, APAC, GSMA



A4 – 11:55-12:40 (同時通訳付き) 113名

ランチセッション – 世界中で集めた脅威データから見える日本のメールセキュリティの傾向と対策

Kevin San Diego - Cloudmark Product Management, Proofpoint, Inc.



A5 – 12:40-13:25 (同時通訳付き) 103名

脆弱な IoT 機器及びマルウェアに感染している IoT 機器の利用者への注意喚起 (NOTICE) の取組
一般社団法人 ICT-ISAC 事務局長 引地 信寛



A6 – 13:40-14:25 (同時通訳付き) 160名

11年間メール製品のテストを行ってきた歩みと、その歩みから感じる時代の変化



A7 – 14:55-15:40 (同時通訳付き) 135名

送信ドメイン認証技術最新アップデート
Steve Jones - DMARC.org / LinkedIn



A8 – 15:55-16:40 (同時通訳付き) 188名

教えて！モバイル宛Eメールの送り方、えっそうなの？！Abuse 申告対応の裏側

株式会社NTTドコモ 正見 健一朗
KDDI株式会社 村西 秀規
ソフトバンク株式会社 奥山 将明
ソフトバンク株式会社 井手上 泰彦



A9 – 16:55-17:40 (同時通訳付き) 174名

パネルセッション – 再び！メールサービスを支える運用者の集い (前半)

一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター 平塚 伸世
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 山田 慎悟



B4 – 11:55-12:40 80名

ランチセッション – メールセキュリティ・トレイルマップ ~DMARC やその先にある世界~

株式会社クオリア チーフエンジニア 平野 善隆



B5 - 12:40-13:25 87名

サイバー脅威の予測型防御における AI テクノロジーの活用

Vade Secure 株式会社 関根 章弘



B6 - 13:40-14:25 55名

M3AAWG 47 Montreal 報告

Vade Secure 株式会社 伊藤 美佳

Vade Secure 株式会社 関根 章弘

株式会社インターネットイニシアティブ 黄 重陽

ソフトバンク株式会社 北崎 恵凡

株式会社クオリアティア チーフエンジニア 平野 善隆



B7 - 14:55-15:40 69名

ユーザーのアカウントを守れ！～アカウント不正利用の実態と対策～

ヤフー株式会社 ID・セキュリティユニットマネジャー 伊藤 雄哉

ヤフー株式会社 CISO 室・不正利用対策担当 栗田 由希子



LPI-Japan BoF – 14:55-15:40 44名

今求められる Linux 技術者のアーキテクト人材像とは

特定非営利活動法人 オープンテクノロジー技術者認定機関 鈴木 敦夫



C5 – 12:40-13:25 17名

メール運用者のための DNS 入門

株式会社インターネットイニシアティブ 島村 充



C6 – 13:40-14:25 11名

初心者向けメールプロトコル

株式会社 TwoFive 開発マネージャー 加瀬 正樹



C7 - 14:55-15:40 15名

メールソースの読み方（初心者向け）

株式会社クオリティア チーフエンジニア 平野 善隆



～2日目 11月15日（金）～

A10 - 10:00-10:45（同時通訳付き） 117名

Keynote 3 - Global Security Overview III

Emanuele Balla - CIO, Spamhaus Technology

Kaspersky GReAT セキュリティリサーチャー 石丸 傑

Adrien Gendre - Chief Solution Architect, Vade Secure

Kevin San Diego - Vice President / Product Management, Cloudmark, Inc.



A11 - 10:50-12:05 102名

Open Round Table



A12 – 12:05-12:50 (同時通訳付き) 146名

ランチセッション – DMARC 集計レポートを活用した、なりすましメールの見つけ方

株式会社 TwoFive 開発マネージャー 伊藤 隼人



A13 – 12:50-13:35 (同時通訳付き) 112名

メールインフラでの GDPR オーバービュー

Dennis Dayman - Growth and Development Chair, M3AAWG



A14 – 13:50-14:35 (同時通訳付き) 92名

パネルセッション – ISP から見た DoT/DoH と DNS の今後

株式会社インターネットイニシアティブ 山口 崇徳

株式会社コミュニティネットワークセンター ニコライ ボヤジエフ

Matthew Stith - Spamhaus Technology



A15 – 15:05-15:50 (同時通訳付き) 139名

DMARC 導入事例紹介

楽天株式会社 北浦 顕志



A16 – 16:05-16:50 (同時通訳付き) 166名

パネルセッション – 再び！メールサービスを支える運用者の集い（後半）

ソフトバンク株式会社 北崎 恵凡

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 松本 正伸

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社 沖 幸弘

ビッグロブ株式会社 加藤 理人

株式会社コミュニティネットワークセンター ニコライ ボヤジエフ

フリービット株式会社三浦 敏孝

株式会社オプテージ 森崎 聡



B13 – 12:50-13:35 44名
ライトニングトークセッション (20代限定)

ソフトバンク株式会社 阿部 巧
ヤフー株式会社 上野 博司
株式会社NTTドコモ 糟谷 衣里
株式会社 TwoFive 清水 貴弘
ソフトバンク株式会社 末松 剛



B14 – 13:50-14:35 88名
送信ドメイン認証とドメイン名調査からわかるメールの実態!

株式会社インターネットイニシアティブ JPAAWG 会長 / IAjapan 迷惑メール対策委員会 委員長
櫻庭 秀次



国立大学法人 東京農工大学 北川 直哉



B15 – 15:05-15:50 47名

ネットの向こう側に苦情を伝える方法 ~ Abuse Desk Best Practice

さくらインターネット株式会社 山下 健一



C13 – 12:50-13:35 9名

送信ドメイン認証なんだっけ

国立大学法人 東京農工大学 北川 直哉



C14 - 13:50-14:35 8名

ゲーム演習で学ぶ CSIRT のうごき

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 早期警戒グループ 輿石 隆

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 早期警戒グループ 平岡 佑一郎



C15 - 15:05-15:50 6名

メールセキュリティ CTF ハンズオン

ソフトバンク株式会社 松本 勝之

ソフトバンク株式会社 深田 大介

ソフトバンク株式会社 伊藤 秀明

ソフトバンク株式会社 阿部 巧

ソフトバンク株式会社 田中 龍之介



10. 制作物

コーヒーブレイク



ピンバッジ



配布プログラム



11. 会場の様子

総合受付



会場前・ホワイエ



スポンサー展示ブース



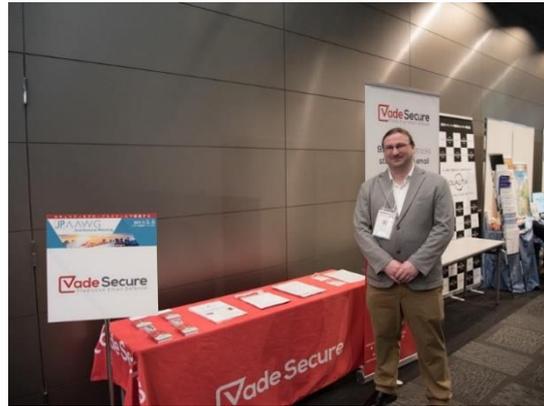
株式会社 TwoFive



株式会社インターネットイニシアティブ



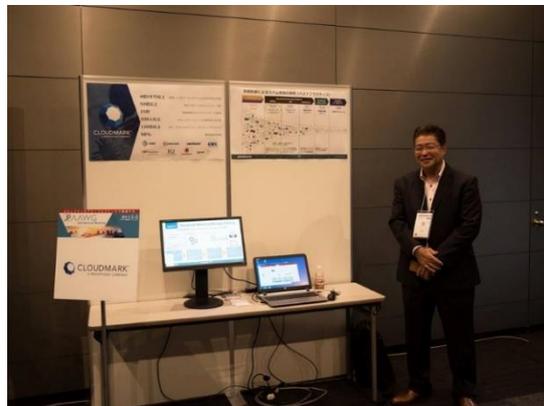
Kaspersky



Vade Secure

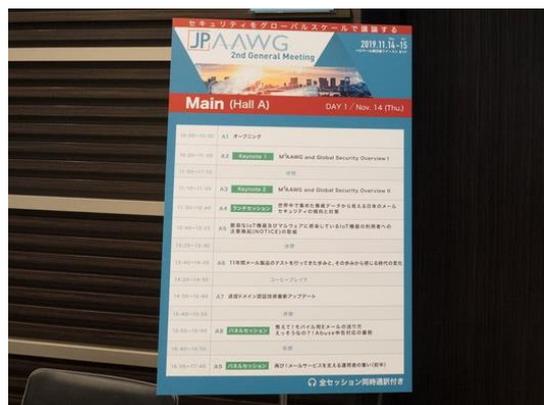


株式会社クオリティア



Proofpoint, Inc

看板



12. メディア

事前プレスリリース・イベント前取材記事

○印：タイアップ記事

●インプレス - Internet Watch (2019/11/13 12:00)

ネット上の脅威と闘う現場の人たちの話が聞けるイベント「JPAAWG 2nd General Meeting」、今年は2日間開催で規模拡大

<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/interview/1217983.html>

●インプレス - Internet Watch (2019/11/19 12:31)

「OCN メール」の迷惑メールとの“付き合い方”、レピュテーション低下で某事業者から IP アドレスもドメインも拒否扱いになった経験からの対策【JPAAWG 2nd General Meeting】

<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/1219335.html>

●アイティメディア @IT (2019/10/07 05:00)

インターネットを守るための技術、法律、そして世界——標準化団体 JPAAWG に聞いた

<https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1910/07/news010.html>

○アイティメディア @IT (2019/10/11 10:00)

今だからこそ必要な「メッセンジングセキュリティ」、他社の生の声を聞くには

<https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1910/11/news002.html>

●イード - ScanNetSecurity (2019/11/01 10:30)

編集長対談：JPAAWG に聞く、技術者の議論のやりかた

<https://scan.netsecurity.ne.jp/article/2019/11/01/43171.html>

●朝日インタラクティブ - ZDnet (2019/10/10 06:00)

インターネットの安全に向けた国際的活動を日本でも?JPAAWG が本格始動

<https://japan.zdnet.com/article/35143650/>

○翔泳社 - EnterpriseZine Security Online (2019/10/11 11:00)

JPAAWG 2nd General Meeting の見どころ紹介 好評により拡大開催！当事者目線で世界のセキュリティ最先端事情が共有される場を作る JPAAWG の思い

<https://enterprisezine.jp/article/detail/12478>

●Security NEXT (2019/10/11)

JPAAWG のイベントが 11 月に開催 - メールやメッセージのセキュリティを議論

<http://www.security-next.com/108954>

●ASCII.jp x SAKURA internet (2019/10/17 10:00)

ウェブ上の脅威への対策をテーマとしたイベントに、さくらの山下氏が登壇

<https://ascii.jp/elem/000/001/957/1957544/>

今回 2 回目の開催となる JPAAWG 2nd General Meeting は
みなさまのご協力のもと、おかげさまで事前登録者の参加率は昨年同様 7 割を達し、
多くの来場者を迎えることができました。

会場の都合上、スペースが限られた中での開催でしたが
今回の問題・課題点を次回開催時に改善したい次第です。

事前準備から会期中にかけて、大変お疲れ様でございました。
JPAAWG 2nd General Meeting へのご協力、誠にありがとうございました。

JPAAWG 2nd General Meeting 運営事務局